

【講座紹介】

.....「小学校学級活動実践講座」.....

期日：平成19年7月30日(月)～7月31日(火) 研修参加者：11名 聴講参加者：19名

講座のねらいは何ですか？

「なすことによって学ぶ特別活動」と言われますが、「活動ありき」にならないように、特別活動の学習理論や効果的な指導法についての研修を行い、学級活動を中心とした指導力の向上を図ることをねらいとして行いました。

具体的な講座の内容、および研修者の反応について教えてください！

【1日目】

【協議】「学級活動指導上の諸問題」

指導上の諸問題について、ブレインストーミング、KJ法を用いて整理し、共有化を図りました。

研修者の感想から

- ・ 自分自身、学級活動の時間をじっくりと振り返ることができて大変良かった。また他の先生方と諸問題について共有できたこと、そして何より色々とお話してきたことがよかった。
- ・ KJ法を用いることで、今自分が課題としていることがはっきりと分かって、これからの研修で何をすべきかが明らかになった。

研修担当から

まずは現状分析が大切ですね。今回は、班編成を低・中・高学年に分け、ブレインストーミング、KJ法等の手法を用いたことで学級活動指導上の問題点が分類・整理され、効果的でした。

研修者の感想から

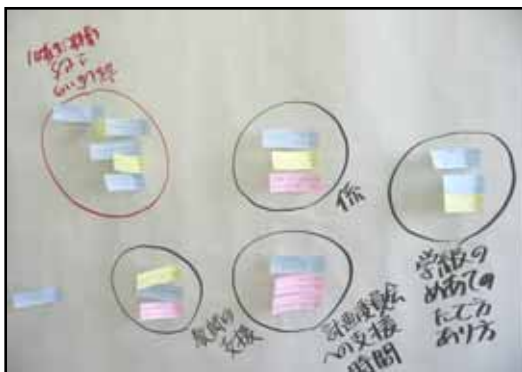
- ・ 同じ3学年の担任として、子どもたちの活動がこれだけ違っていることに驚き、指導の至らなさを実感しました。いただいた資料を活用して、教師が口を出さないで済む話合い活動を目指してがんばりたいと思います。
- ・ 具体的な指導の実践例を聞く機会がなかったので、今回は大変勉強になりました。3年生という発達段階だからこそ、しっかり指導しなければならないこと、そして何よりも3年生でも自治的な活動ができることを教えていただきました。

【実践報告】「学級活動実践例の紹介」

福島市立瀬上小学校の八巻博之先生から、1学期に実践された3年生での話合い活動について、詳しく報告をしていただきました。

研修担当から

八巻先生には昨年に引き続き、発表していただきました。今まで高学年を担任されることが多く、今回3年生を担当され、「中学年において、このくらい育ててくれていると高学年担任として助かるな！」という視点で、1学期に実践された内容を聞かせていただきました。まさに発達段階に応じた望ましい特別活動の指導の在り方についての発表をいただきました。



【講義・演習】

「特別活動の意義と学級活動の時間の工夫」

特活の意義を日頃の実践から考えるとともに、学級活動の時間の工夫点について、各自の発表をもとに学びました。

研修者の感想から

- ・ 特別活動の意義についてこれまでの実践と結び付けて考えることで、抽象的でつかみにくかった部分が具体的に分かってきた。
- ・ 特別活動は学校生活全般を通して指導するものであり、各教科での指導の基本となるものであることを改めて気付かされた。

特別活動の教育的意義

特別活動の教育的意義	自校の具体的な実践
ア 集団の一員として、為すことによって学ぶ活動を通して、自主的、実践的な態度を身に付ける活動である。	
イ 教師と児童及び児童相互の人間的な触れあい	

研修担当から

日頃、活動に取り組んでいる子どもたちの具体的な姿を付箋紙にどんどん書き込み、左表に示した特別活動の五つの意義ごとに分類していきました。なかなか理解しにくい学習指導要領の内容も、具体的な子どもたちの姿からイメージすると分かりやすくなります。

【2日目】

【演習・協議】「学級活動の要素表の作成」

2学期以降予想される議題について、指導上踏まえるべき点をいくつかの視点から洗い出し、「要素表」と言われる一覧表にまとめていきました。

研修者の感想から

- ・ 初めて要素表を作成しました。子どもたちの様子をイメージしながら作業をする中で、事前に準備すべき点を洗い出すことができました。
- ・ 色々なテーマの議題があり、かつ研究指定校の例などもあり、そのまま2学期の学級活動に生かせる資料を得ることができた。
- ・ 同学年の先生方と意見の交流ができてよかった。



研修担当から

「要素表」には、「条件」や「本議題で期待されること」、「事前指導および対処事項」等の視点があります。研修者はそれに沿ってまとめていくことで、2学期以降にすぐに生かせる一種の指導案を完成させることができたことは大きな成果でした。

【講演】「生きる力を育む特別活動」

文部科学省教科調査官 杉田 洋氏

中教審における特別活動に関する最新情報を交えながら、今後の望ましい特別活動の在り方について講演をいただきました。

研修者の感想から

- ・ 公立学校の役割として、人間を育てる、心を育てることに原点があり、その中心的役割が特活であることを再認識することができた。
- ・ 学習指導要領の改訂に伴って、ますます特別活動の役割が大きくなることを実感した。
- ・ 我々は人間を育て、心を育てているんだという責任、そして誇りをもって、これから子どもたちと向き合っていくことが大切だと実感した。

研修担当から

とにかく、「百聞は一見に如かず」。直接お話しを聞くことで、昨年に引き続き杉田先生からたくさんの勇気をいただきました。

聴講者の感想から

- ・ 2時間はあっという間で、足りませんでした。午前・午後と聞きたいくらいでした。
- ・ 学校ではなかなか中央の考えが伝わってきません。今回、「そうだったのか」と思うことがたくさんあり、このような機会をどんどん増やしてほしいと思います。
- ・ 内容が盛りだくさんでしたが、わかりやすくてとても良かったです。杉田先生の熱意にいつもながら心を打たれます。

最後に研修担当からメッセージをお願いします！

人格の完成を目指す学校教育、その基盤づくりは学校生活を組織していくことにあり、その中核的な役割を担っているのが「特別活動」です。その充実を図ることは、これからの社会を生きていく子どもたちにとって必ずプラスになることでしょう。来年度、さらに多くの方が受講されることを願っております。